三里塚 野戦病院ニュース
NO. 20
'71.5.12
成田市駒井野 三里塚現地救対本部

闇に乗じ機動隊地下壕を襲撃

―― 弾圧はねのけ地下ごう防衛す ――

みなさん！

昨夜（五月一一日）九時すぎ、警察機動隊が、こともあろうに第一、第二地下壕におそいかかるという実に恐るべき事態が発生しました。

九時一五分、機動隊は全く不当にも、公団道路で青行隊の車をとり囲み、とんだいいがかりを口実に車内捜査を行ったのです。そこでは何も得ることができず、一時公団分室の方へひき下がった機動隊は、九時四〇分、五〇名ほどの部隊をひきつれ、突如として地下壕めがけて襲いかかってきました。地下壕には絶対一歩も踏みこませまいと、穴の前にたちふさがった反対同盟・地下壕防衛隊に対し機動隊は、「機動隊を甘くみるな」「お前らなんか、殺してやるぞ」等々あらん限りの人殺し的おどし文句をあびせかけ、ジュラルミンの楯をふりかざし、闇に乗じて集団的リンチを開始したのです。

逮捕されるのがいいか、百回殴られるのがいいか

機動隊のリンチで右耳を強打され、今も耳が聞えないという、地下ごう防衛隊の一人は、「機動は、わたしに、『逮捕されるのがいいか、百回殴られるのがいいか』などとおどし、『うちの山隊長をやったのはお前だろう』とありもしないデッチ上げを口実に、顔面を殴り、腹部をけり、急所をけり上げるなど、メチャクチャなリンチをしてきた。帰りしなわたしを指して、『こいつは自分で頭を丸太にぶつけたんだ』と言ってヘラヘラ笑い写真をとって帰った」、と語った。

また右腹部を楯・足で強打され、肋骨の骨折・内臓破裂の疑いもあるT君は、機動隊にヘルメットをひもが首にくいこむほどひっぱられ、ジュラルミンの楯の中へひきこまれ、楯の水平打ちひざげり等のあらん限りの集団リンチをうけたのです。

そればかりか機動隊は一人の防衛隊員を何の理由もなく逮捕し去ったのです。

しかし、隊員の必死の斗いにより、機動隊は地下ごうに一歩も踏みこめず、すごすごと引き下らざるを得なかった。そして今日（一二日）午前八時半、機動隊はまたもや地下ごう侵入を試み失敗しております。

みなさん！ 二月最後の、公団ガードマンの団結小屋への襲撃に相抗く この権力の暴虐にはわたしたちは心底から怒りを覚えます。法律、マスコミ、すべての暴力を一手に握り、人々を好き放題に傷つけておいて、ヘラヘラ笑うようなことは決して許しません。

弾圧はねのけ、六月斗争を爆発させよう！

しかしこの権力者の狂気こそ、六月第二次強制収用阻止の[illegible]あらわれなのです。「政府の暴力的土地とりあげには死ぬまでやる」ことを決意した反対同盟に対するなみなみならぬ、恐怖のあらわれなのです。

みなさん！ すでに現地では穴掘り作業が開始されています。この最終段階で、敵を[illegible]作業が進められています。狂気の弾圧をはねのけ、六月に向け斗う反対同盟に全国からの支援と激励を！ ぜひともこぞって、三里塚へ！